

証券コード:5401



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

2014年度 1Q決算説明会

執行役員財務部長

宮本 勝弘

2014年7月31日

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値

1. 2014年度1Q決算・上期見通し
2. 2014年度見通し
3. 中期経営計画の進捗状況
4. ご参考

1. 2014年度1Q決算・上期見通し

2014年度1Q決算・上期見通しの概況

需給環境(14上期見通し)

- 国内鋼材需要：季節要因(建設向け公共工事規模差)や消費増税による反動影響があるものの、これらを除けば、復興需要の本格化や設備投資の回復等により、実質的な需要増加が期待される
- 国際市況：世界経済の緩やかな成長を背景に輸出は概ね堅調に推移すると見込まれる
但し、国際市況については、中国メーカーによる高生産の継続が懸念され注意が必要

当社の取組み

- 13年度下期対比で14年度上期は、粗鋼・出荷量ともに増加する見通し(戸畑第4高炉 4月20日火入れ)
- 中期経営計画で掲げた技術先進性の発揮、コスト競争力の強化、最適生産体制の構築、グループ会社の体質強化等の施策を着実に実行
- インドにおける合弁会社の営業運転開始など、グローバル展開も順調に進展
- 実質フル生産の状況下、安定生産・安定供給への取組みを強化

1Q決算概況・上期見通し

- 14年度1Q経常利益 743億円(対13/4Q :-45億円)、当期利益 483億円(対13/4Q :-16億円)
- 14年度上期経常利益 1,500億円(対13/下 :-374億円)、当期利益 850億円(対13/下 :-421億円)
- 第2四半期末の剰余金の配当方針は、2円/株。(連結配当性向21%)

国内主要需要分野の活動水準推移

		FY13					FY14			差異		
		上期	3Q	4Q	下期	年度	*2 1Q	2Q*2 見通し	*2 上期 見通し	13/4Q → 14/1Q	13/下 → 14/上見	13/上 → 14/上見
建設	住宅着工戸数 (万戸)	50	27	22	49	99	21	22	42	-1	-6	-7
	非住宅着工 (万㎡)	2,915	1,389	1,323	2,712	5,627	1,362	1,420	2,782	+39	+70	-133
	公共工事受注*1 (10億円)	4,042	1,923	2,206	4,129	8,171	1,880	1,992	3,872	-326	-257	-171
自動車	完成車生産台数 (万台)	474	250	266	517	991	239	243	482	-27	-34	+8
	完成車輸出台数 (万台)	235	120	108	228	463	110	129	239	+2	+11	+4
	海外生産(8社) (万台)	790	427	419	846	1,637	427			+8		
産業機器	大中型ショベル (千台)	38	21	21	42	80	18	18	36	-3	-5	-2
	金属工作機械 (千ト)	154	81	109	190	344	110	93	203	+1	+12	+49
造船	新造船起工 (万グロストン) (当社推定)	599	325	340	665	1,264	345	348	694	+5	+29	+95

リグカウントの状況	CY08平均	CY09平均	CY10平均	CY11平均	CY12平均	CY13平均	直近
米国	1,879	1,089	1,546	1,875	1,919	1,761	1,883 (14/7/25)
深井戸(≧15,000ft)	283	249	249	395	324	326	348 (14/5)
北米・露・中を除く世界	1,079	997	1,094	1,167	1,234	1,296	1,344 (14/6)

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額 *2 7月中旬見込み値



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

国内主要需要分野の鋼材消費推移

(単位:万ト)	FY13					FY14			差異		
	上期	3Q	4Q	下期	年度	1Q ^{*1}	2Q ^{*1} 見通し	上期 ^{*1} 見通し	13/4Q → 14/1Q	13/下 → 14/上見	13/上 → 14/上見
全国粗鋼生産量	5,582	2,814	2,757	5,571	11,152	2,766	2,796	5,562	+9	-9	-20
国内鋼材消費	3,170	1,671	1,652	3,324	6,494	1,590	1,608	3,197	-62	-126	+27
製造業比率 (%)	62.8	62.4	63.5	62.9	62.9	63.9	63.2	63.5	+0.4	+0.6	+0.7
普通鋼鋼材消費	2,516	1,335	1,320	2,655	5,171	1,261	1,275	2,536	-59	-119	+20
建設	1,117	596	572	1,168	2,285	544	559	1,103	-28	-65	-14
製造業	1,399	739	748	1,487	2,886	718	715	1,433	-31	-54	+34
ウチ、造船	198	107	111	218	416	112	113	225	+1	+7	+27
ウチ、自動車	564	294	296	590	1,154	281	282	562	-16	-28	-1
ウチ、産業機械	245	130	134	264	509	129	127	255	-5	-9	+10
ウチ、電機機械	153	80	82	162	315	79	78	158	-3	-4	+5
特殊鋼鋼材消費	655	337	332	669	1,323	328	333	661	-4	-7	+7
鋼材輸入	277	176	202	378	655						
鋼材輸出	2,028	942	970	1,912	3,940						

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 7月中旬見込み値

当社製鉄事業諸元

(単位:万ト)	FY13					FY14			差異		
	上期	3Q	4Q	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	13/4Q → 14/1Q	13/下 → 14/上見	13/上 → 14/上見
出銑量 *1	2,277	1,141	1,062	2,203	4,480	1,105	1,190	2,300	+42	+97	+23
粗鋼生産量(連結)	2,427	1,226	1,163	2,389	4,816	1,186	1,250	2,430	+23	+41	+3
粗鋼生産量(単独)	2,302	1,163	1,101	2,264	4,567	1,129	1,190	2,320	+27	+55	+17
鋼材出荷量	2,097	1,038	1,067	2,105	4,202	1,043	1,090	2,130	-24	+25	+33
シームレス出荷量	58	30	32	62	120	30	32	62	-2	+0	+4
鋼材平均価格 (千円/ト)	84.4	86.7	88.4	87.6	86.0	87.6	84.0	86.0	-0.8	-1.6	+1.6
鋼材輸出比率(% [金額ベース])	48	45	45	45	46	46	47	46	+1	+1	-2
為替レート(¥/\$)	98	100	103	102	100	102	102	102	1円高	-	4円安

*1 北海製鉄・日鉄住金鋼鉄和歌山含み

2014年度1Q決算・上期見通し

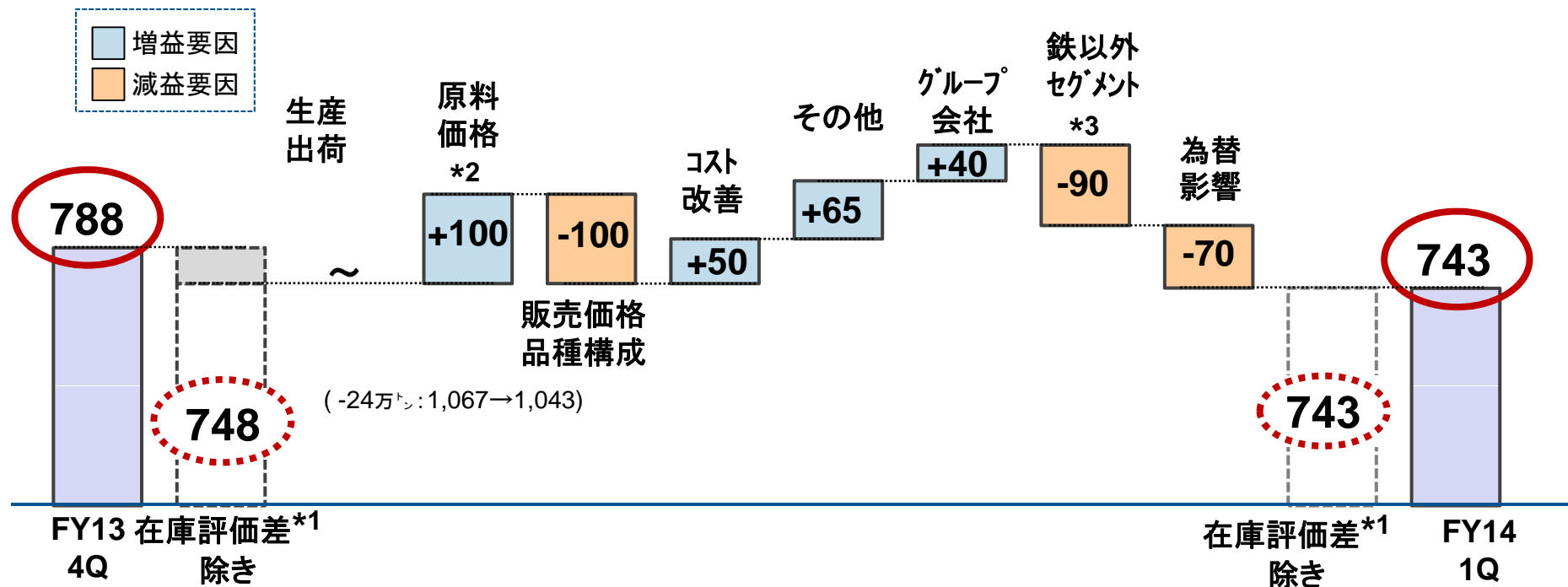
(単位:億円)	FY13					FY14			差異		
	上期	3Q	4Q	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	13/4Q → 14/1Q	13/下 → 14/上見	13/上 → 14/上見
売上高	26,745	13,629	14,786	28,415	55,161	13,614	13,886	27,500	-1,172	-915	+755
営業利益	1,392	823	767	1,590	2,983	596			-171		
経常利益	1,736	1,085	788	1,874	3,610	743	757	1,500	-45	-374	-236
特別損益	165	121	93	215	380	-			-93		
当期利益	1,155	772	499	1,271	2,427	483	367	850	-16	-421	-305
[一株当り 当期利益]	[12.7]	[8.5]	[5.5]	[13.9]	[26.7]	[5.3]	[4.0]	[9.3]	[-0.2]	[-4.6]	[-3.4]
EBITDA	3,007	1,660	1,634	3,294	6,302	1,358			-275		
EBITDA / Sales	11.2%	12.2%	11.1%	11.6%	11.4%	10.0%			-1.1%		
ROS	6.5%	8.0%	5.3%	6.6%	6.5%	5.5%	5.5%	5.5%	0.2%	-1.1%	-1.0%
ROE	9.4%	12.0%	7.5%	9.8%	9.6%	7.2%			-0.3%		



経常損益分析 (13/4Q→14/1Q)

(単位:億円)	FY13/4Q [A]	FY14/1Q [B]	増減 [A→B]
経常利益	788	743	-45
製鉄	655	710	55
鉄以外セグメント	153	64	-89
調整額	-20	-31	-11

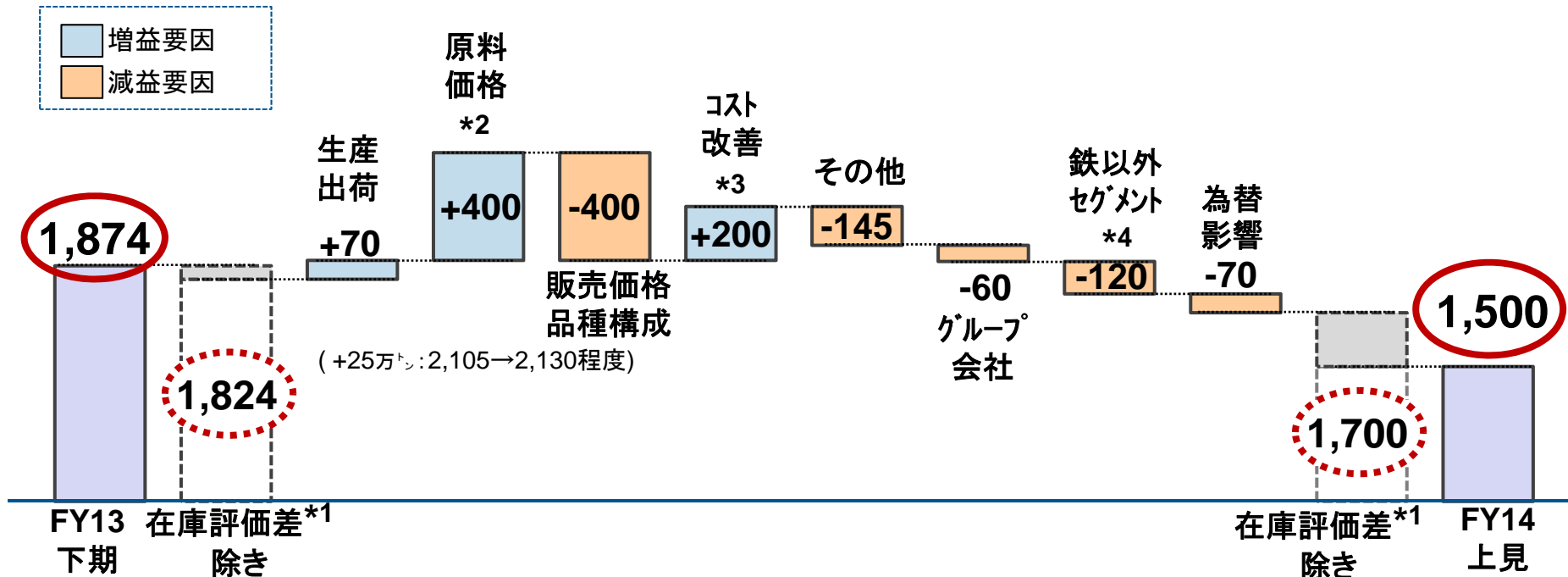
- *1 在庫評価差
FY13/4Q:+40→FY14/1Q:~
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 エンジニアリング-80(季節差)、化学+10
新素材~、システムソリューション-20



経常損益分析 (13/下期→14/上期見通し)

(単位:億円)	FY13下期 [A]	FY14上期 見通し [B]	増減 [A→B]
経常利益	1,874	1,500	-374
製鉄	1,630	1,360	-270
鉄以外セグメント	257	135	-122
調整額	-13	5	+18

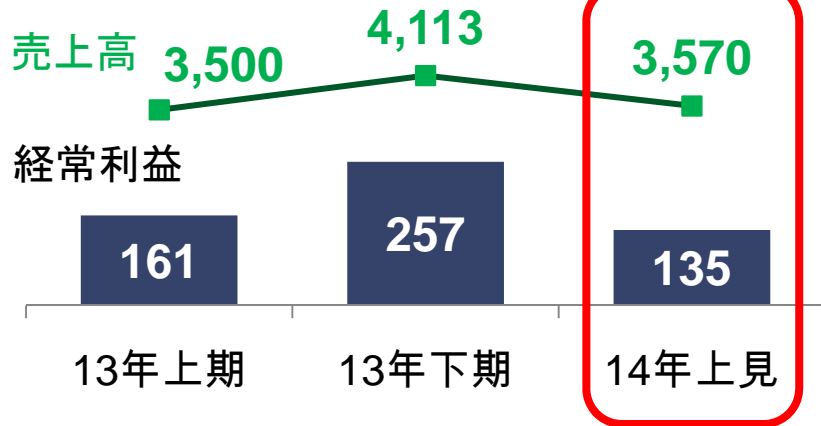
- *1 在庫評価差
FY13/下: +50 → FY14/上: -200
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 統合効果+90含む
- *4 エンジニアリング-90(季節差)、化学～、
新素材～、システムソリューション-30



製鉄以外セグメント概況

売上高・経常利益推移 (4セグメント合計)

(単位:億円)



2014年上期 経常損益動向見通し (前年同期対比)

エンジニアリング事業	増益	: 大型プロジェクトの堅調な進捗、コスト改善努力 他
化学事業	減益	: 化学品事業マージン悪化、子会社における在庫評価益の減 他
システムソリューション事業	横這い	: 販売管理費増加も、業務ソリューション・ビジネスサービスを中心に増益
新素材事業	横這い	: ワイヤ市場で競争激化も、全社的なコスト改善努力を推進 他

(単位:億円)

エンジニアリング事業	2013		2014	
	上期	下期	1Q	上見
売上高	1,343	1,798	754	1,400
経常利益	36	140	19	50

化学事業	2013		2014	
	上期	下期	1Q	上見
売上高	1,150	1,150	521	1,150
経常利益	70	30	8	30

システムソリューション事業	2013		2014	
	上期	下期	1Q	上見
売上高	814	984	447	860
経常利益	48	79	32	50

新素材事業	2013		2014	
	上期	下期	1Q	上見
売上高	192	179	90	160
経常利益	6	7	4	5

貸借対照表

(億円) 2014/3月末

流動資産 22,733	その他負債 15,479
固定資産 48,089	有利子負債 22,963
	自己資本 26,836
	5,543

少数株主持分

(億円) 2014/6月末

流動資産 22,056	その他負債 15,810
固定資産 48,265	有利子負債 21,805
	自己資本 27,131
	5,573

少数株主持分

	14/3	14/6	増減
総資産 (億円)	70,822	70,321	-500
有利子負債 (億円)	22,963	21,805	-1,157
自己資本 (億円)	26,836	27,131	+295
D/Eレシオ (倍)	0.86	0.80	-0.06

剰余金の配当方針(第2四半期末)について

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、1株につき2円(連結配当性向21%)とさせていただく方針と致します。

< 利益配分に関する基本方針 >

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

「業績に応じた利益配分」の指標としては、連結配当性向年間20%程度を基準と致します。

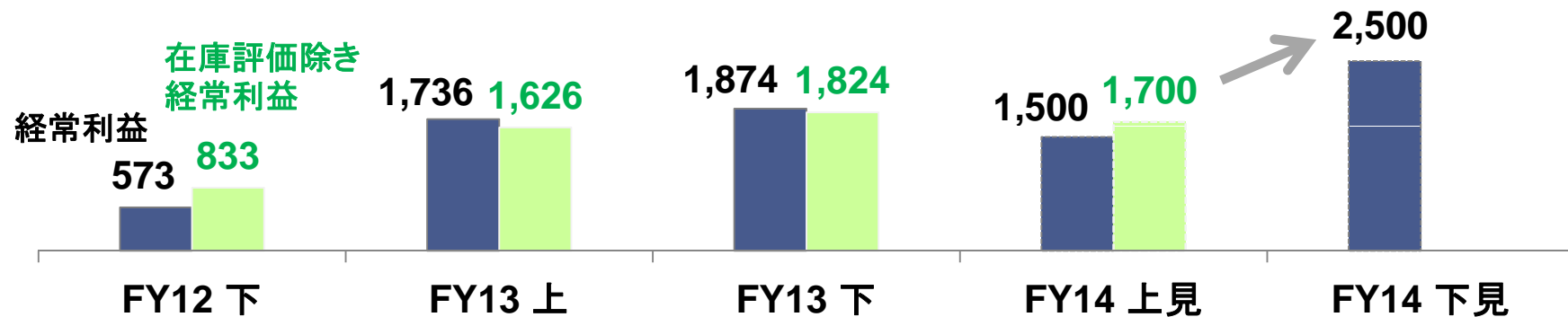
2. 2014年度見通し

2014年度通期見通しについて

2014年度下期には消費増税による反動減影響がなくなる等のことから、2014年度通期では、前年度対比約1割増益の連結経常利益4,000億円程度の収益を確保したい。

(単位:億円)	FY13			FY14					差異		
	上期	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	下期 見通し	年度 見通し	13/下 → 14/上見	14/上見 → 14/下見	13年 → 14年見
売上高	26,745	28,415	55,161	13,614	13,886	27,500			-915		
経常利益	1,736	1,874	3,610	743	757	1,500	2,500	4,000	-374	+1,000	+390
当期利益	1,155	1,271	2,427	483	367	850			-421		

◆経常利益推移



2014年度通期見通しについて

◆国内主要需要分野の活動水準見通し

		FY13			FY14					差異		
		上期	下期	年度	*2	*2	*2	*2	*2	13/下	14/上見	13年
					1Q	2Q 見通し	上期 見通し	下期 見通し	年度 見通し	→ 14/上見	→ 14/下見	→ 14年見
建設	住宅着工戸数 (万戸)	50	49	99	21	22	42	45	88	-6	+3	-11
	非住宅着工 (万㎡)	2,915	2,712	5,627	1,362	1,420	2,782	2,864	5,646	+70	+82	+19
	公共工事受注 ^{*1} (10億円)	4,042	4,129	8,171	1,880	1,992	3,872	3,665	7,537	-257	-207	-635
自動車	完成車生産台数 (万台)	474	517	991	239	243	482	498	980	-34	+15	-11
	完成車輸出台数 (万台)	235	228	463	110	129	239	251	490	+11	+12	+27
	海外生産(8社) (万台)	790	846	1,637	427							
産業機器	大中型ショベル (千台)	38	42	80	18	18	36	34	71	-5	-2	-9
	金属工作機械 (千トン)	154	190	344	110	93	203	202	405	+12	-1	+60
造船	新造船起工 (当社推定) (万グロストン)	599	665	1,264	345	348	694	696	1,390	+29	+2	+126

(出所:各種統計資料・当社推定)

*1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額

*2 7月中旬見込み値

2014年度通期見通しについて

◆国内主要需要分野の鋼材消費見通し

(単位:万トン)	FY13			FY14				*1 年度 見通し	差異		
	上期	下期	年度	*1 1Q	*1 2Q 見通し	*1 上期 見通し	*1 下期 見通し		13/下 → 14/上見	14/上見 → 14/下見	13年 → 14年見
全国粗鋼生産量	5,582	5,571	11,152	2,766	2,796	5,562			-9		
国内鋼材消費	3,170	3,324	6,494	1,590	1,608	3,197	3,287	6,484	-126	+89	-10
製造業比率 (%)	62.8	62.9	62.9	63.9	63.2	63.5	62.4	63.0	+0.6	-1.1	+0.1
普通鋼鋼材消費	2,516	2,655	5,171	1,261	1,275	2,536	2,629	5,165	-119	+92	-6
建設	1,117	1,168	2,285	544	559	1,103	1,172	2,275	-65	+69	-10
製造業	1,399	1,487	2,886	718	715	1,433	1,457	2,890	-54	+24	+4
うち、造船	198	218	416	112	113	225	226	451	+7	+1	+35
うち、自動車	564	590	1,154	281	282	562	580	1,142	-28	+17	-12
うち、産業機械	245	264	509	129	127	255	242	497	-9	-13	-12
うち、電機機械	153	162	315	79	78	158	160	318	-4	+2	+3
特殊鋼鋼材消費	655	669	1,323	328	333	661	658	1,319	-7	-3	-4

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 7月中旬見込み値

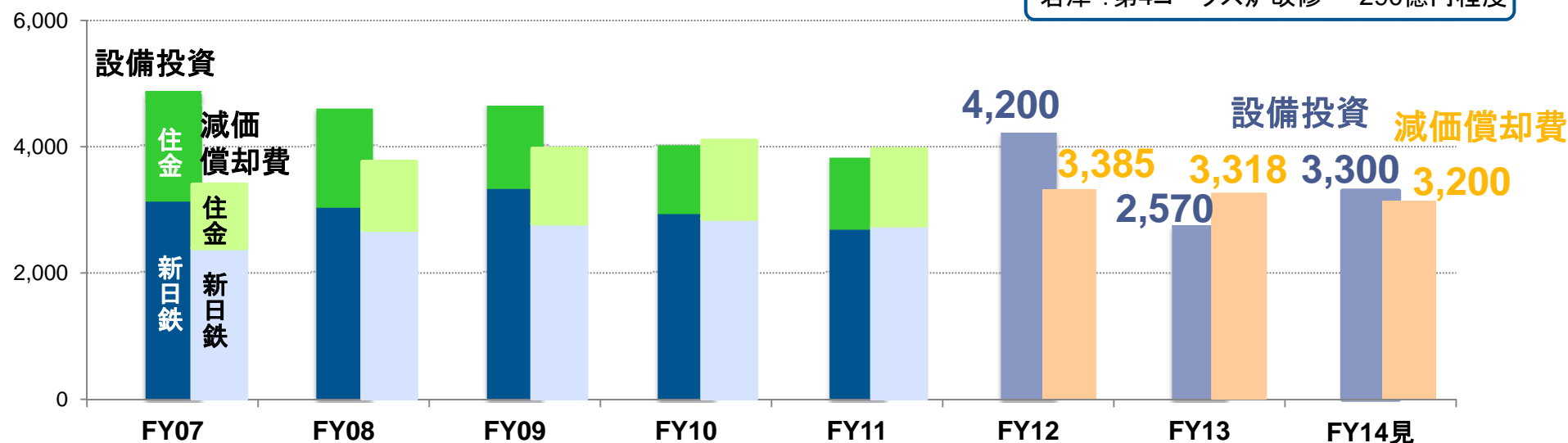
設備投資・減価償却費

(単位:億円)

新日鐵住金 (上段:新日鐵 下段:住金)	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14 見通し
設備投資額 <工事ベース>	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,200	2,570	3,300
減価償却費	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,385	3,318	3,200

主要設備投資案件

君津 : 第4コース炉改修 290億円程度



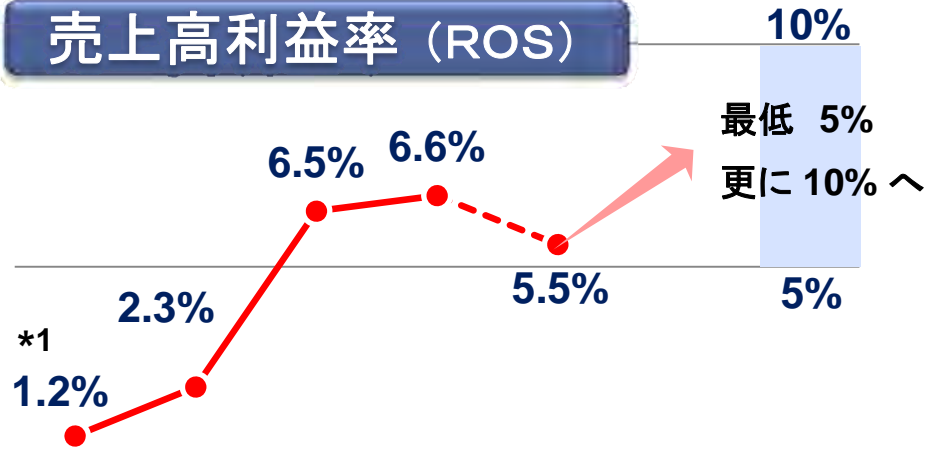
※ 設備投資額 : FY07~12の新日鐵住金は、新日鐵と住金の合算値を50億円単位で四捨五入

3. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画の進捗状況

① 定量的指標の推移

売上高利益率 (ROS)



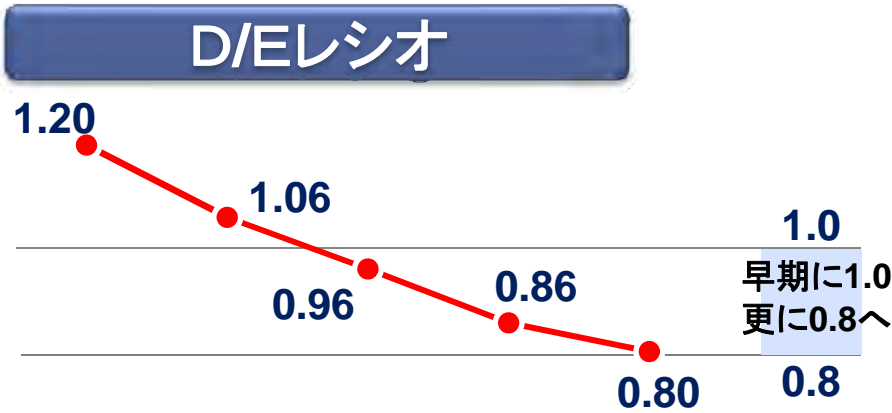
上期	下期	上期	下期	上見	下見	目標
12年度	13年度	14年度				

資産圧縮【億円】



上期	下期	上期	下期	上見	下見	目標
12年度	13年度	14年度				

D/Eレシオ



3Q	下期	上期	下期	1Q	目標
12年度	13年度	14年度			

統合効果【億円】



上期	下期	上期	下期	上見	下見	目標
12年度	13年度	14年度				

*1 FY12上期：旧両社合算ベース

大型原料輸送船「VALE MAX」の受入体制整備

3製鉄所で受入が実現：大型船化によるコスト削減効果



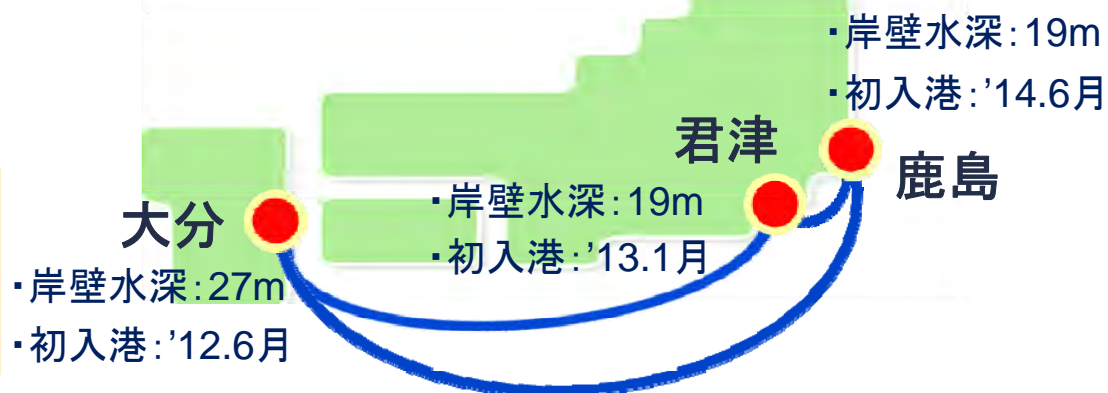
6月に大分、君津、鹿島で受け入れた Vale Brazil

VALE MAX

- ブラジルVALE社が運航する40万トンの級大型船(満載喫水23m)
- 日本が過去受け入れてきた鉱石船の中で最大船型

在庫状況に応じた大型船のフレキシブルな配船が可能に

- ✓ 鉱石トンのあたり輸送料の削減
- ✓ 受入可能港の増加による滞船料発生リスクの軽減



インドの自動車用冷延鋼板合弁事業が営業運転を開始

インド初のCAPL: 成長が見込まれる自動車用高級鋼板需要を捕捉

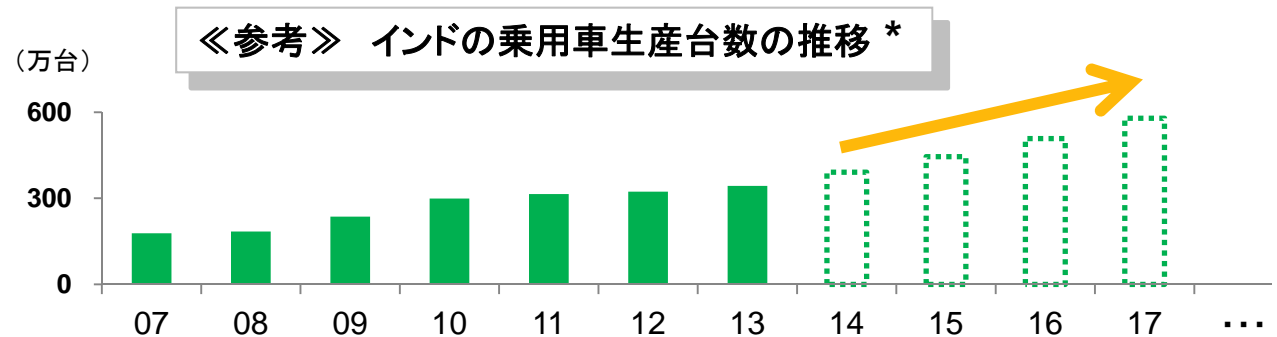


5月に営業運転を開始したJCAPCPL














連続焼鈍設備 (C.A.P.L.)

- 会社名: JCAPCPL
(Jamshedpur Continuous Annealing & Processing Company Private Limited)
- 事業内容: 冷延鋼板製造・販売(主として自動車向け)
- 出資比率: タタスチール 51%、当社 49%
- 総投資額: 約 400億円
- 設備／能力: 連続焼鈍(C.A.P.L.) / 約60万トﾝ/年
- 営業運転開始: 2014年5月9日



* 各種報道等より当社作成

%: NSSMC出資比率		投資額 *	主要設備	製造能力	FY13	FY14	FY15
自動車用鋼板等	 AM/NS Calvert 50% (アメリカ) (ArcelorMittal とのJV)	約 15.5億\$ (買収金額総額)	熱延、冷延 CGL等	530万トン/年 -熱延	★ 14/2		
	 TENIGAL 49% (メキシコ) (Ternium とのJV)	約 300百万\$	CGL	40万トン/年	★ 13/8		
	 JCAPCPL 49% (インド) (TATA とのJV)	約 400億円	CAPL	60万トン/年		★ 14/5	
	 NSGT 100% (タイ)	約 300百万\$	CGL	36万トン/年	★ 13/10		
	 BNA 50% (中国) (宝鋼とのJV)	約 11億元	No4 CGL 新設	42万トン/年	CGL能力 (125万トン→167万トン)		★ FY15稼働開始
	 ICI 80% (アメリカ) (No4 鍛造プレスライン新設)	約 46百万\$	No4 鍛造 プレスライン	約 130万本/年	鍛造プレス能力 (270万本→400万本)		★ FY15稼働開始
	 NSCh 42% (中国) (NBC中国の能力増強)	約 32億円	酸洗・伸線・ 熱処理	42千トン/年			★ FY15稼働開始
建材薄板	 NSBS 50% (シンガポール他)	554百万\$ (グループ総額)	CGL等	140万トン/年 -CGL	★ 13/3 JV設立		
	 CSVC 30% (ベトナム) (CSC とのJV)	1,150百万\$ (JV合計額)	CDCM	120万トン/年	★ 13/4~		
ブリキ	 WINSteel 50% (中国) (武鋼 とのJV)	約 230億円	ブリキ ライン等	80万トン/年	★ 13/9~		
鋼管	 VSB 40% (ブラジル) (Vallourec とのJV)	5.4bnBRL (VSB資本金)	シームレス パイプ等	60万トン/年 -SML		立ち上げ中	

* 合併契約締結時、および当社意思決定時における公表数値

事業基盤強化に向け、最適生産体制の構築を推進中

◆当社における取組み：設備休止等スケジュール

品種	製鉄所	休止/稼働延期	ライン	FY13	FY14	FY15
上工程	君津	休止	第3高炉	4Q		
			第5連鑄機	上期		
	和歌山	稼働延期	第2高炉			
薄板	鹿島	休止	No.2 酸洗、No.1 冷延、No.1 連続焼鈍、バッチ焼鈍、No.1 溶融亜鉛めっき、No.2 電気亜鉛めっき	4Q		
	和歌山	休止	No.3 酸洗、No.1 冷延、溶融めっき、連続焼鈍(電磁鋼板)	1Q 完了		
	名古屋	休止	No.4 溶融亜鉛めっき	1Q 完了		
			電気亜鉛めっき	4Q		
君津	休止	No.1 連続焼鈍	4Q			
鋼管	君津	休止	鍛接鋼管	4Q 完了		

◆子会社における取組み：設備休止等スケジュール

会社名	内容	FY13	FY14	FY15
日鉄住金鋼管 (電縫管事業最適化)	和歌山製造所24インチミル休止	3Q		
	堺製造所の休止(15年8月末)、川崎製造所の休止(15年11月末)	2Q~3Q		
日鉄住金鋼板 (薄板鋼板事業最適化)	西日本製造所(尼崎地区)の酸洗・冷延設備休止	4Q 完了		
	船橋製造所の酸洗・冷延設備休止	1Q 完了		

4. ご参考

世界の経済成長率推移

<2014年7月24日IMF改定値>

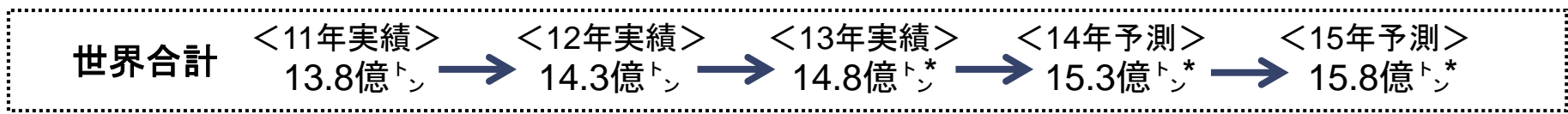
前回 (2014.4.3)

	CY07	CY08	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14 見通し	CY15 見通し
世界合計	5.2	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.2	(3.0) 3.2	(3.6) 3.4	(3.9) 4.0
先進諸国	2.7	0.5	-3.4	3.2	1.7	1.4	(1.3) 1.3	(2.2) 1.8	(2.3) 2.4
米国	2.1	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.8	(1.9) 1.9	(2.8) 1.7	(3.0) 3.0
欧州	2.7	0.6	-4.1	1.9	1.5	-0.7	(-0.5) -0.4	(1.2) 1.1	(1.5) 1.5
日本	2.3	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	1.4	(1.5) 1.5	(1.4) 1.6	(1.0) 1.1
新興諸国	8.3	6.1	2.7	7.5	6.2	5.0	(4.7) 4.7	(4.9) 4.6	(5.3) 5.2
中国	13.0	9.6	9.2	10.4	9.3	7.7	(7.7) 7.7	(7.5) 7.4	(7.3) 7.1
インド	9.4	7.3	6.8	10.6	6.3	4.7	(4.4) 5.0	(5.4) 5.4	(6.4) 6.4
ASEAN5*	6.3	4.7	1.7	7.0	4.5	6.2	(5.2) 5.2	(4.9) 4.6	(5.4) 5.6
ロシア	8.1	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.4	(1.3) 1.3	(1.3) 0.2	(2.3) 1.0
ブラジル	5.7	5.1	-0.6	7.5	2.7	1.0	(2.3) 2.5	(1.8) 1.3	(2.7) 2.0

(出所: IMF)

* ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム

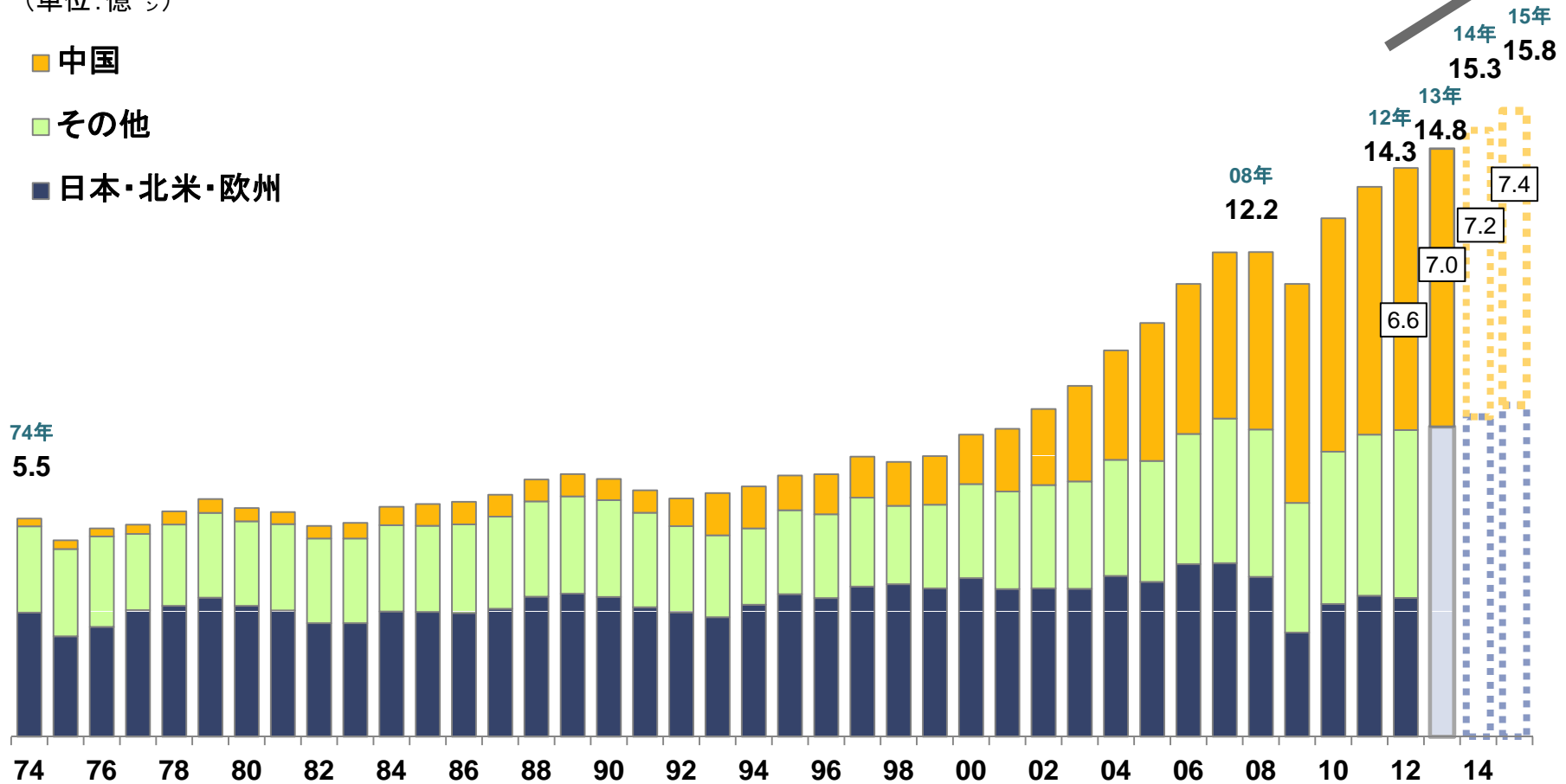
世界の鉄鋼需要推移(鋼材見掛消費)



(単位: 億トン)

- 中国
- その他
- 日本・北米・欧州

'13年以降 約 **+3** %/年



(出所: World Steel Association) *13年実績、14~15年予測(14年4月World Steel Association 発表)

世界月別粗鋼生産量

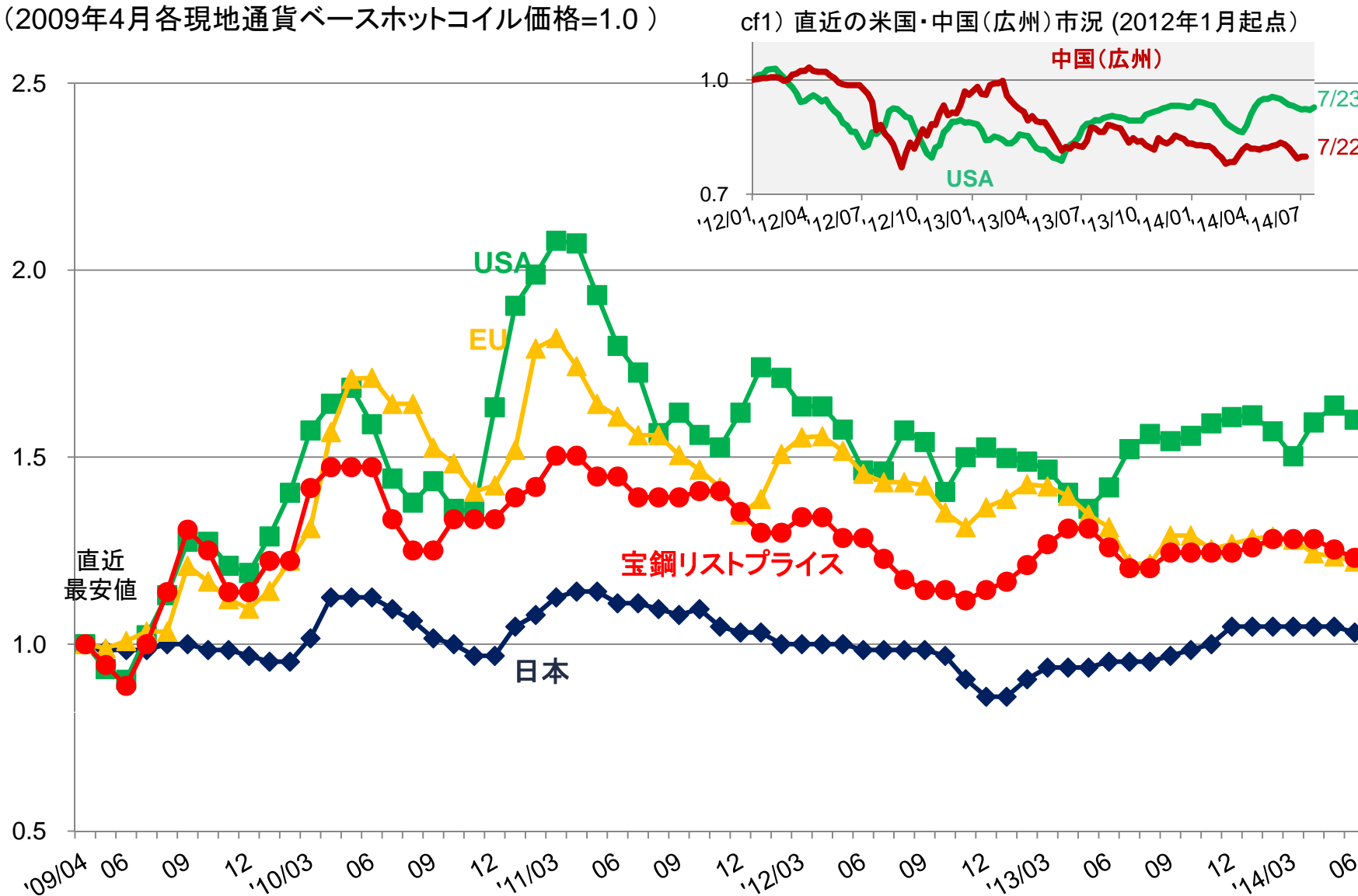
(百万トン)	CY13 [A]	CY14						CY14 年率換算 [C] (B*12/6)	差異 (A → C)
		1-3	4	5	6	4-6	1-6 [B]		
世界計* (前年同期比)	1,582.5 (+4.0%)	404.5 (+3.8%)	136.5 (+3.0%)	140.9 (+3.3%)	139.4 (+6.1%)	416.8 (+4.1%)	821.3 (+3.9%)	1,642.7	+60.2 (3.8%)
日本 (前年同期比)	110.6 (+3.1%)	27.6 (+3.5%)	8.9 (-2.4%)	9.6 (-0.4%)	9.1 (-1.7%)	27.7 (-1.5%)	55.2 (+0.9%)	110.4	-0.1 (-0.1%)
韓国 (前年同期比)	66.0 (-4.4%)	17.7 (+6.6%)	6.2 (+12.6%)	6.2 (+11.5%)	6.0 (+10.8%)	18.4 (+11.7%)	36.1 (+9.1%)	72.2	+6.2 (9.3%)
米国	87.0	21.6	7.2	7.5	7.2	21.9	43.5	87.0	+0.0
EU28	165.8	43.9	14.3	14.9	14.2	43.4	87.4	174.7	+8.9
ロシア	69.4	17.2	5.8	5.9	5.9	17.7	34.8	69.6	+0.2
ブラジル	34.2	8.4	2.8	2.9	2.7	8.3	16.7	33.4	-0.8
インド	81.2	20.7	6.9	6.9	6.7	20.5	41.3	82.6	+1.3
中国 (前年同期比)	779.1 (+8.7%)	201.0 (+4.9%)	68.8 (+4.9%)	70.4 (+5.1%)	71.6 (+10.7%)	210.9 (+6.8%)	411.9 (+5.9%)	823.8	+44.7 (5.7%)

(出所 : World Steel Association)

* 世界65カ国の合計値

世界各国ホットコイル市況推移

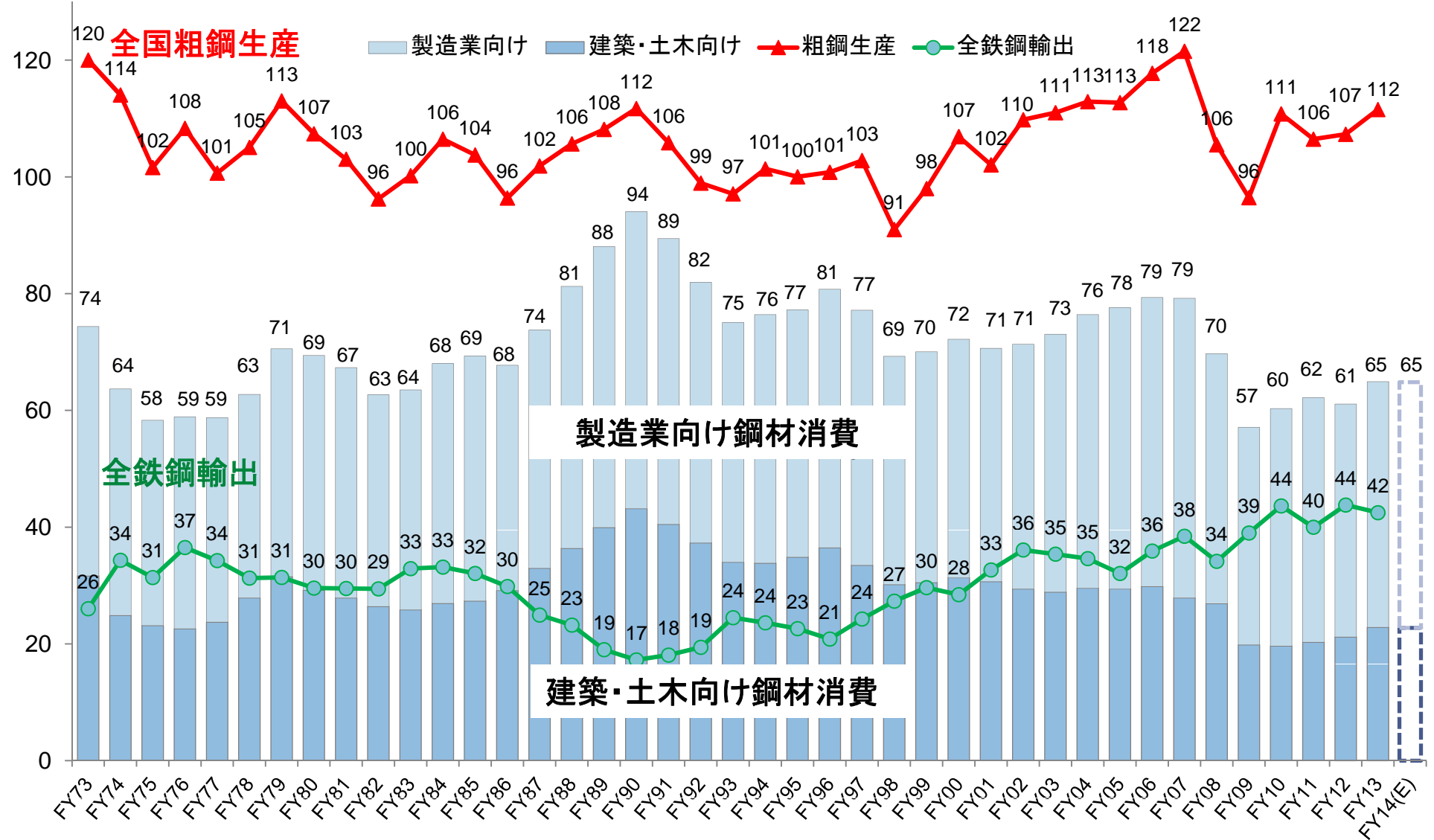
(2009年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)



(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

国内鋼材消費推移

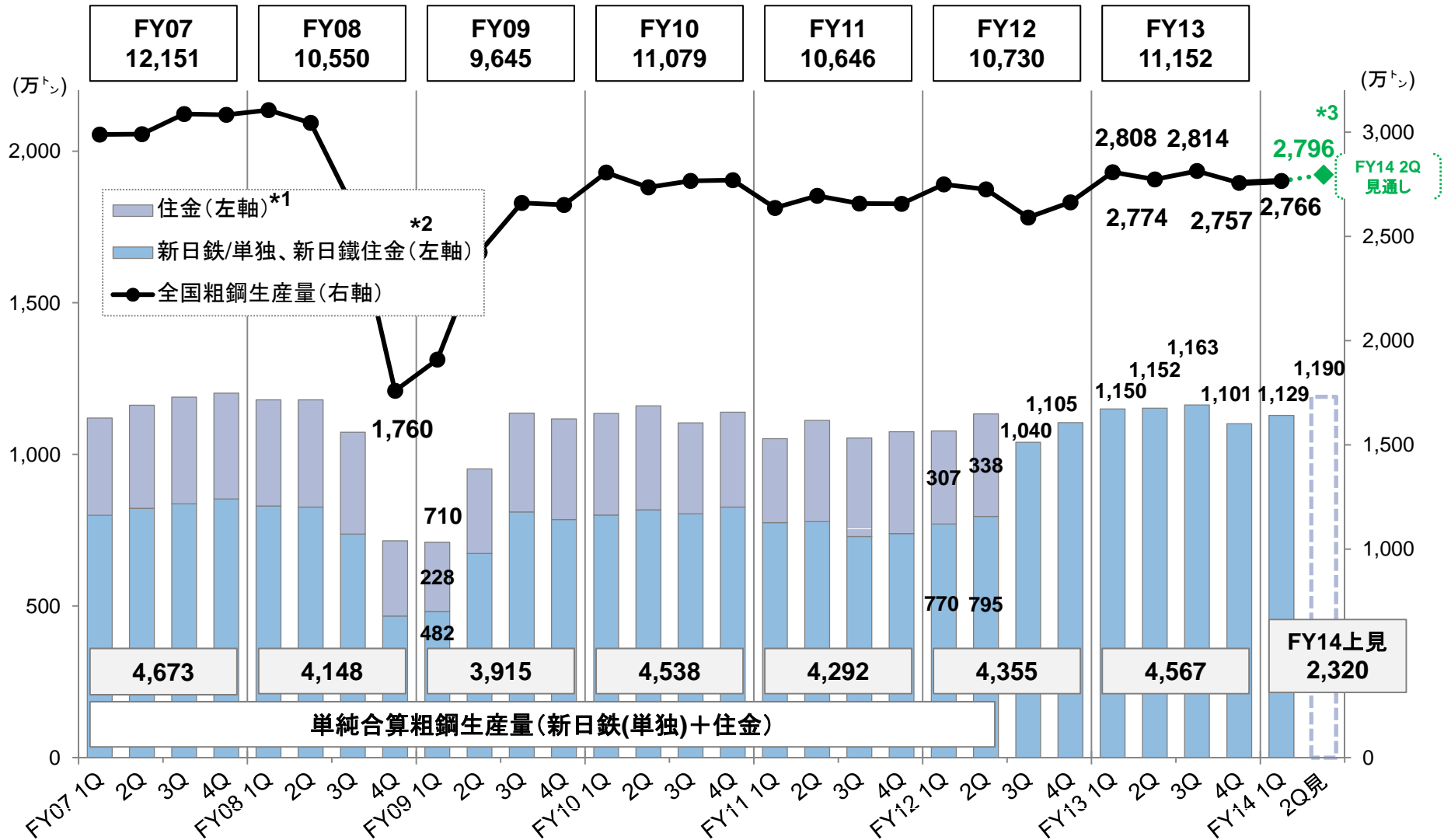
(百万ト)



(出所:各種統計資料・当社推定)

国内粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量

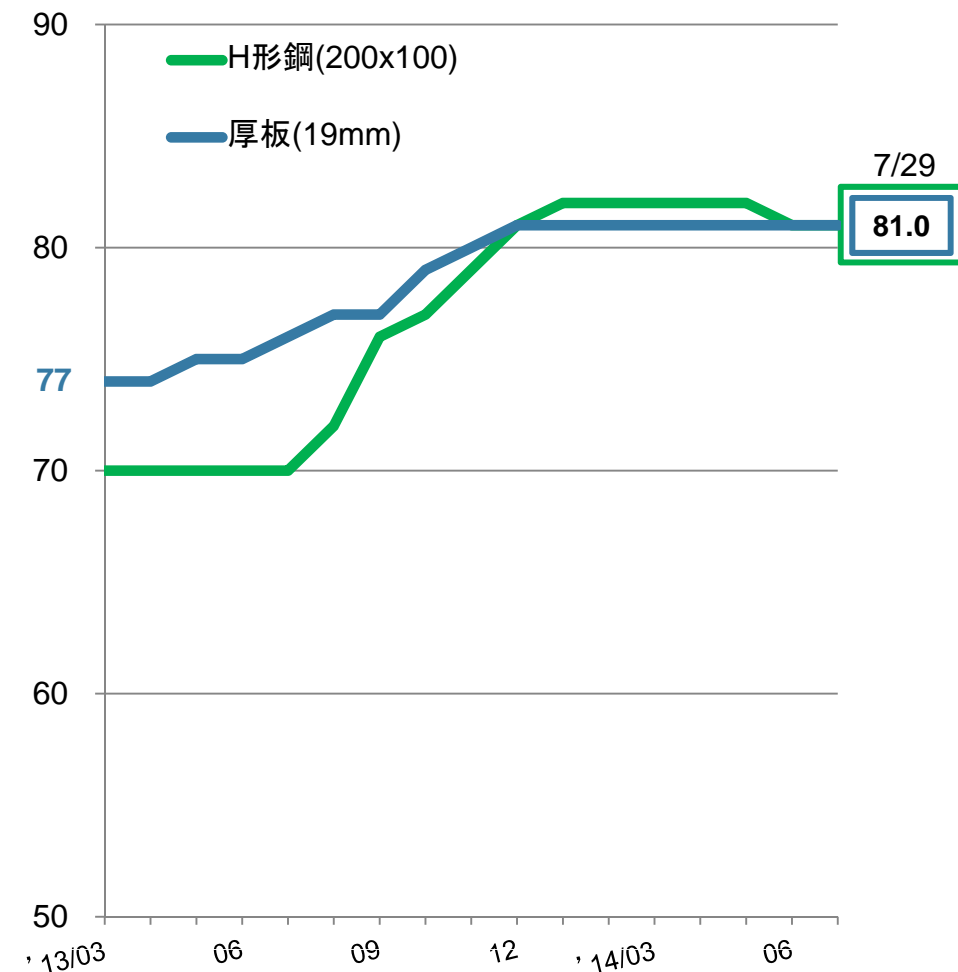


*1 住金: 旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み *2 新日鐵住金: 日鐵住金鋼鉄和歌山含み

*3 経済産業省発表 FY14 2Q鋼材需要見通し(2014/7/2)

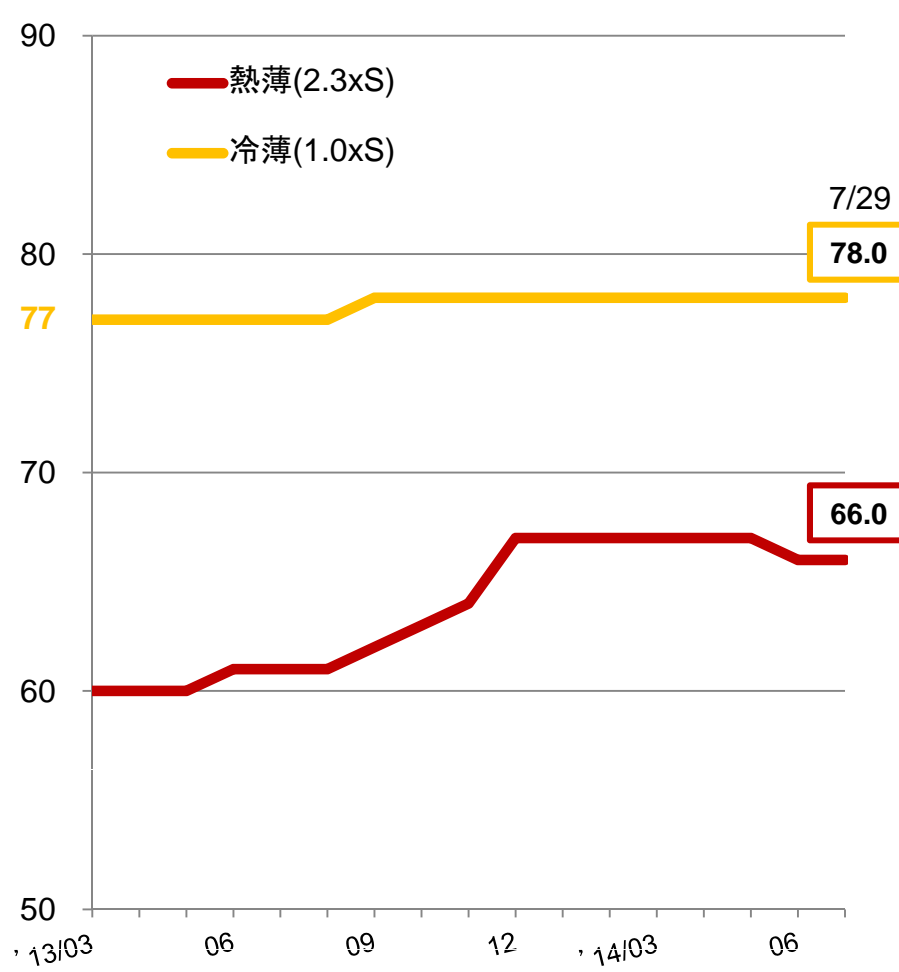
厚板・H形鋼

(千円/ト)



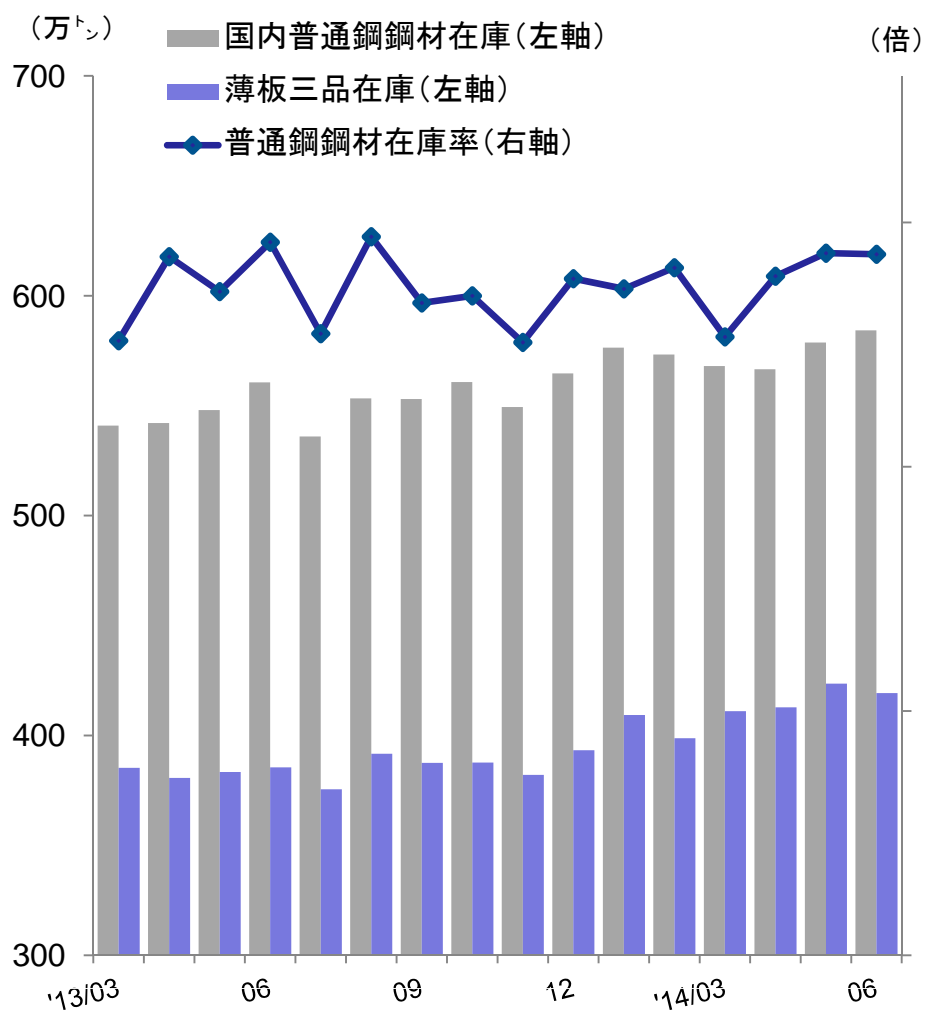
熱延・冷延

(千円/ト)

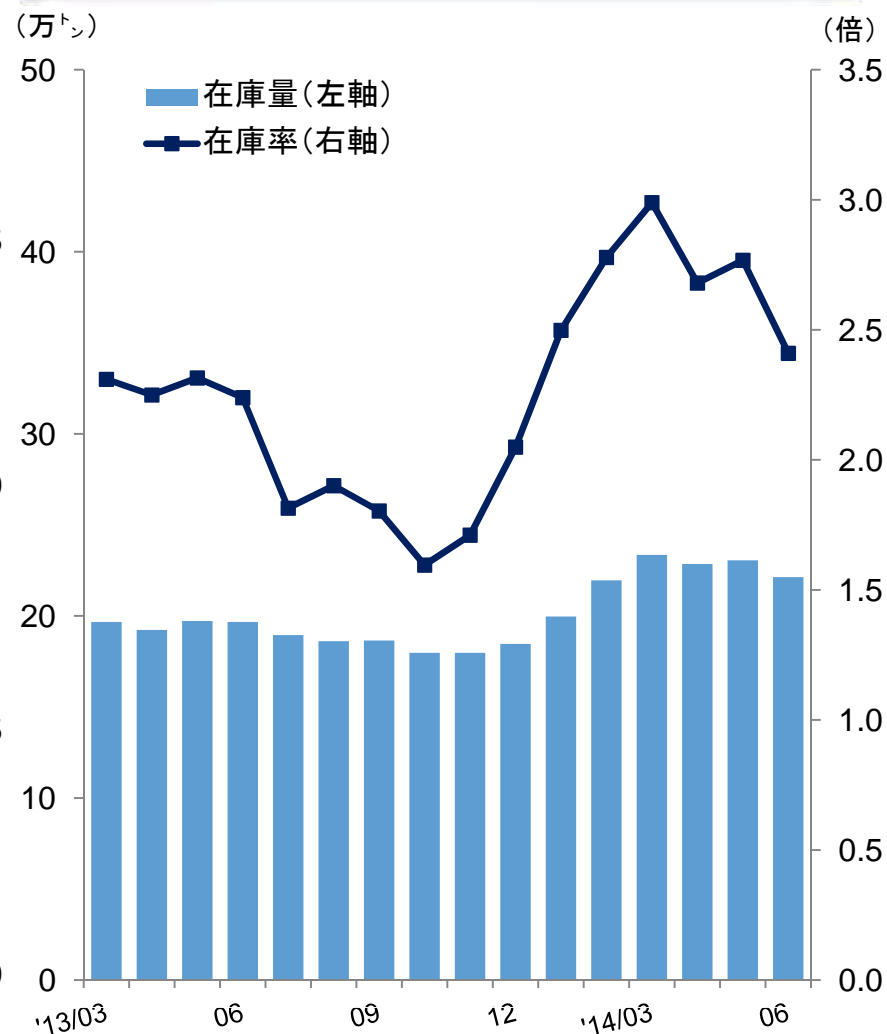


(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

普通鋼鋼材・薄板三品在庫



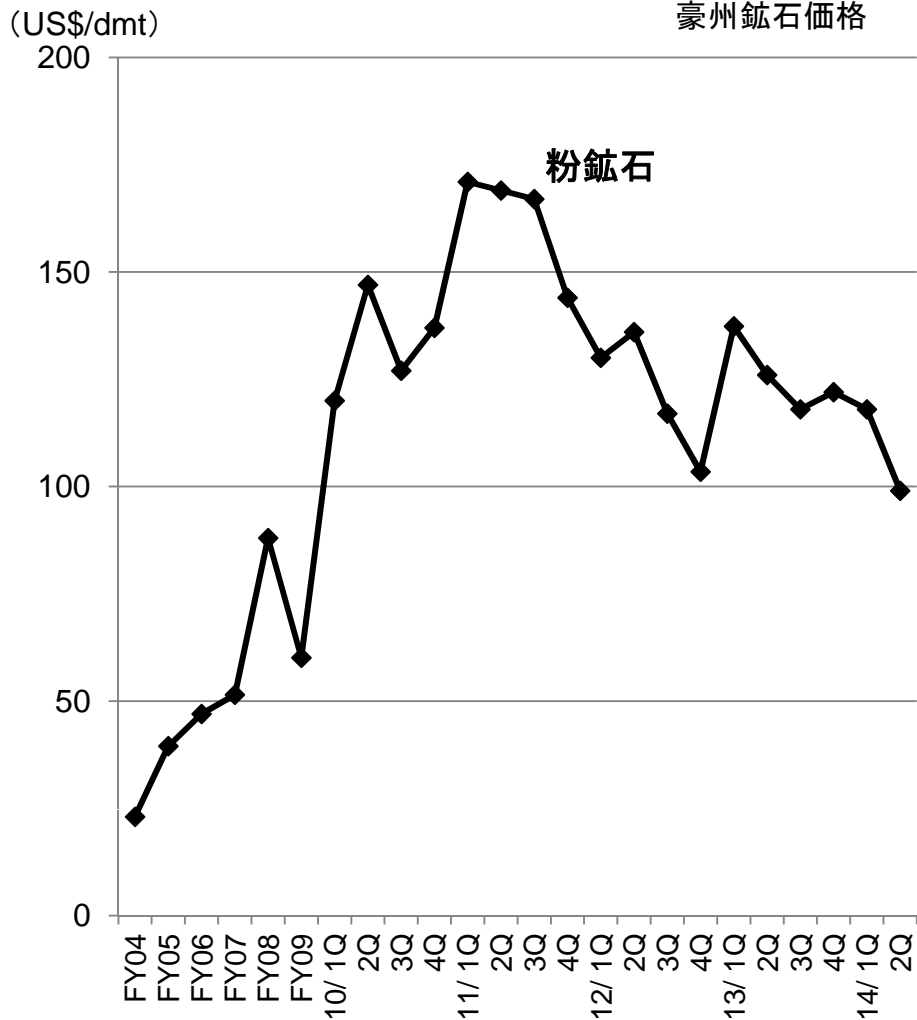
ときわ会 (H形鋼) 在庫



(出所: 日本鉄鋼連盟)

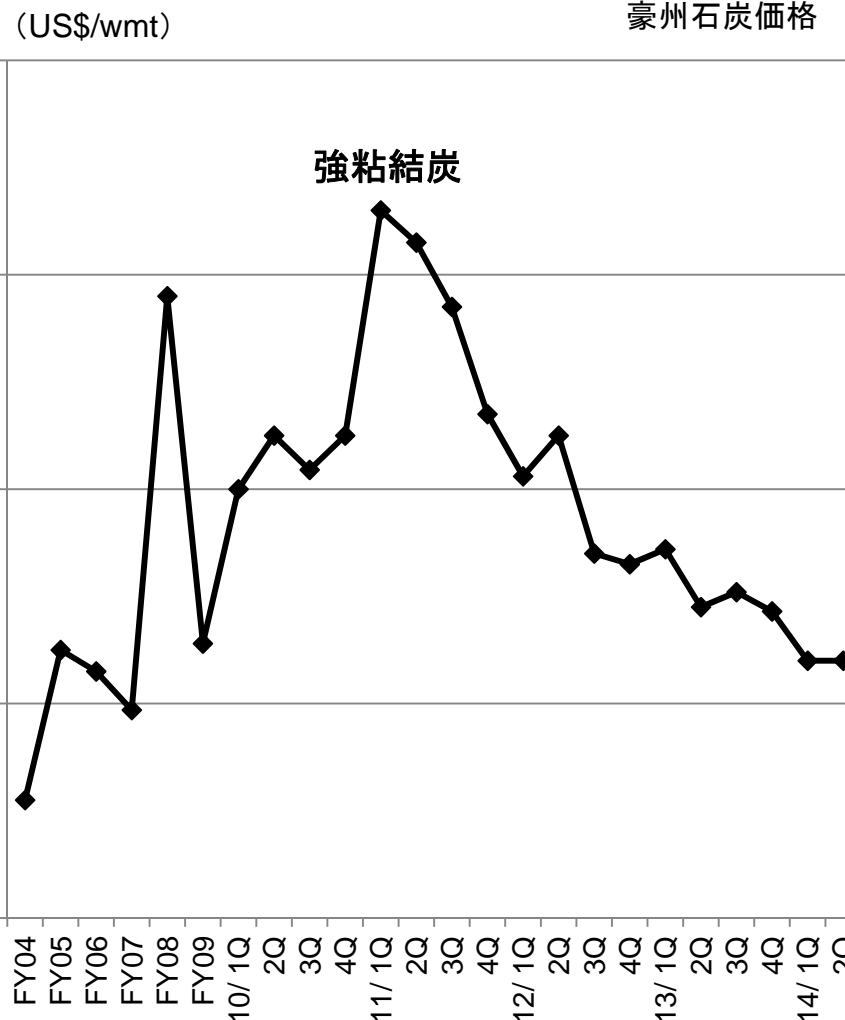
鉄鉱石

豪州鉄鉱石価格



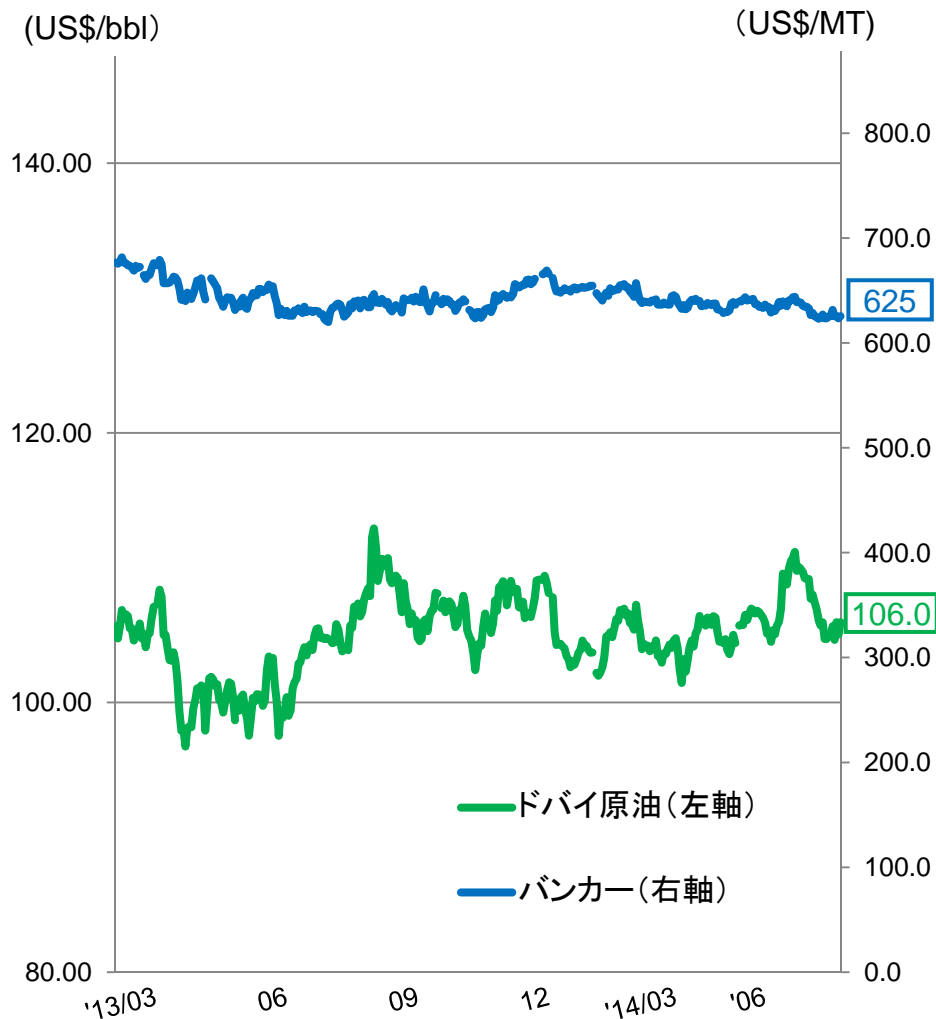
原料炭

豪州石炭価格

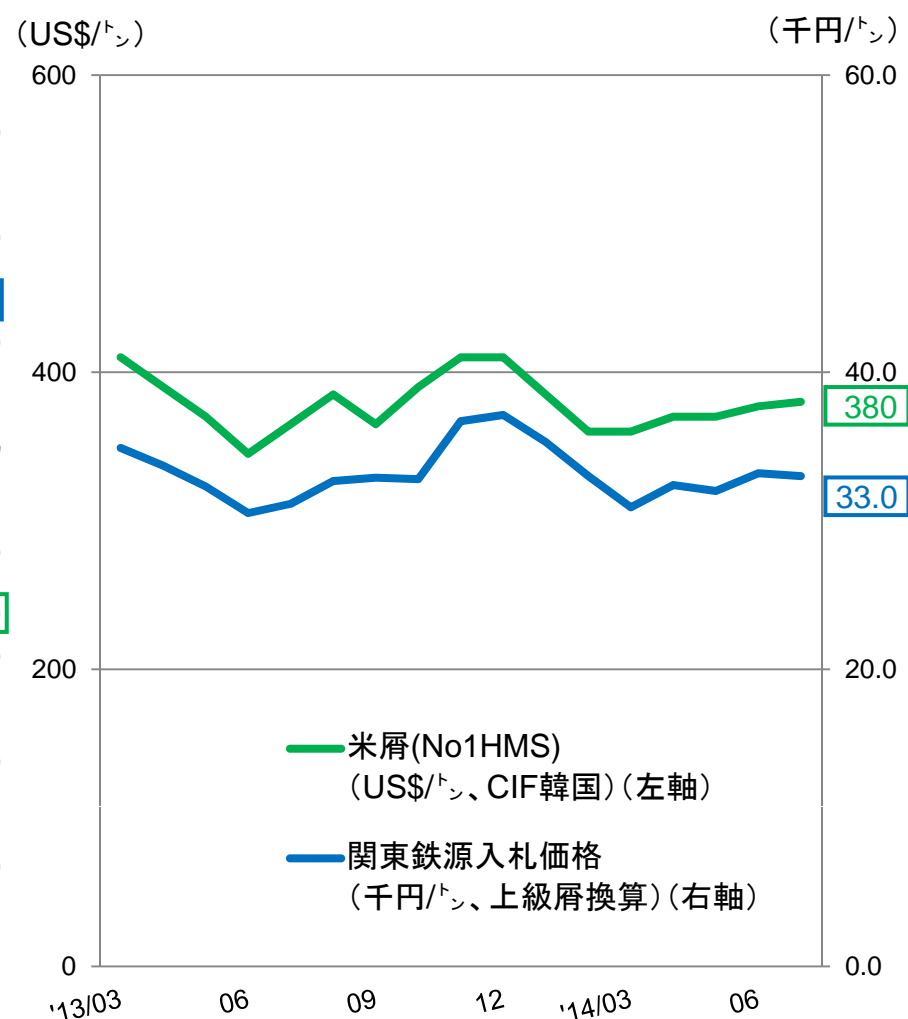


原料市況 <原油・スクラップ>

原油



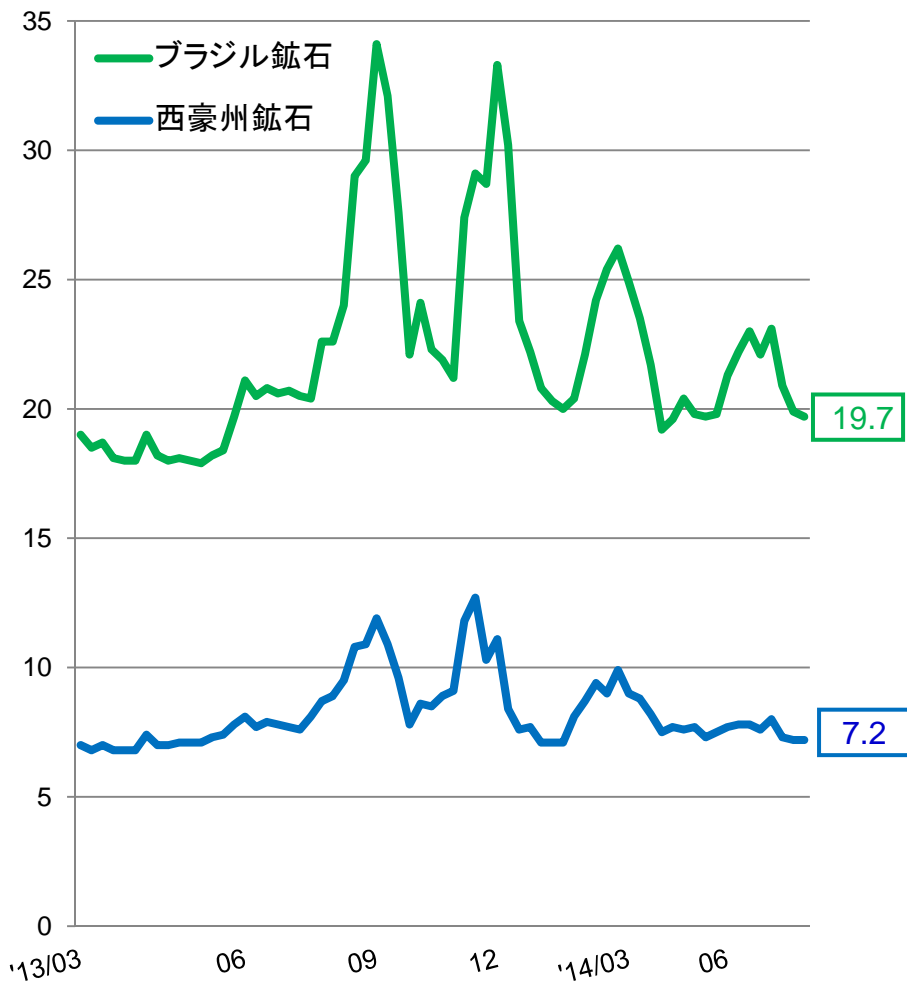
スクラップ



原料市況 <フレート・型鉄>

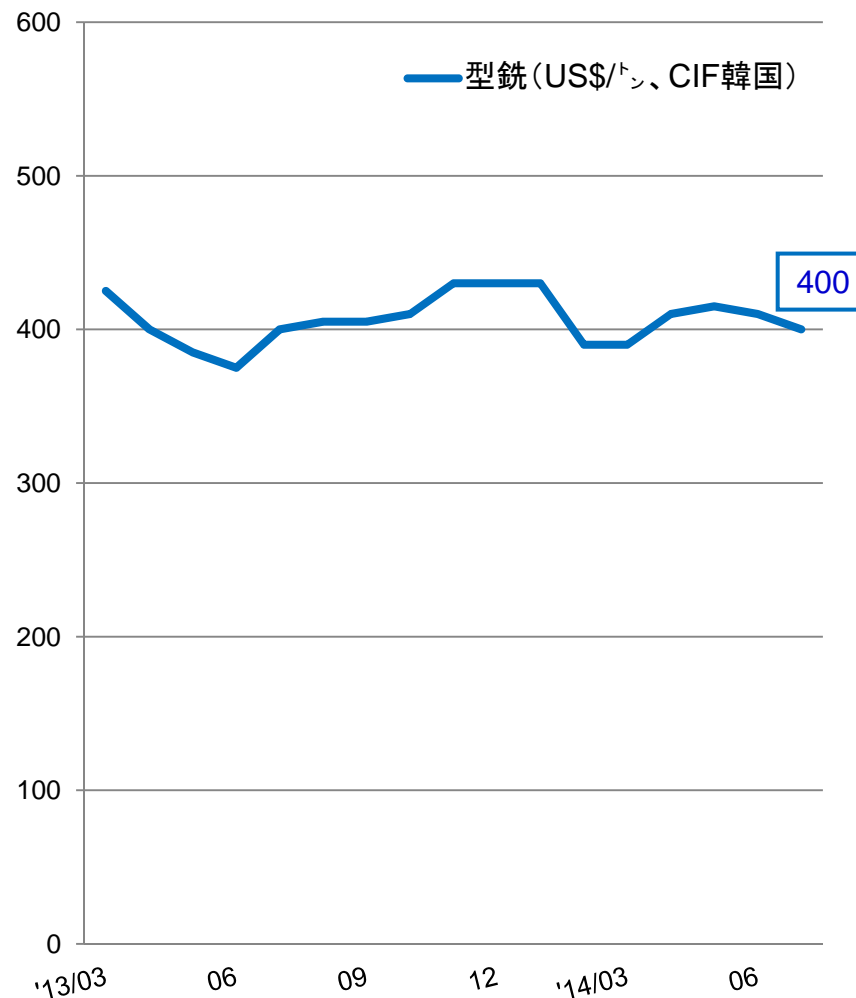
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)

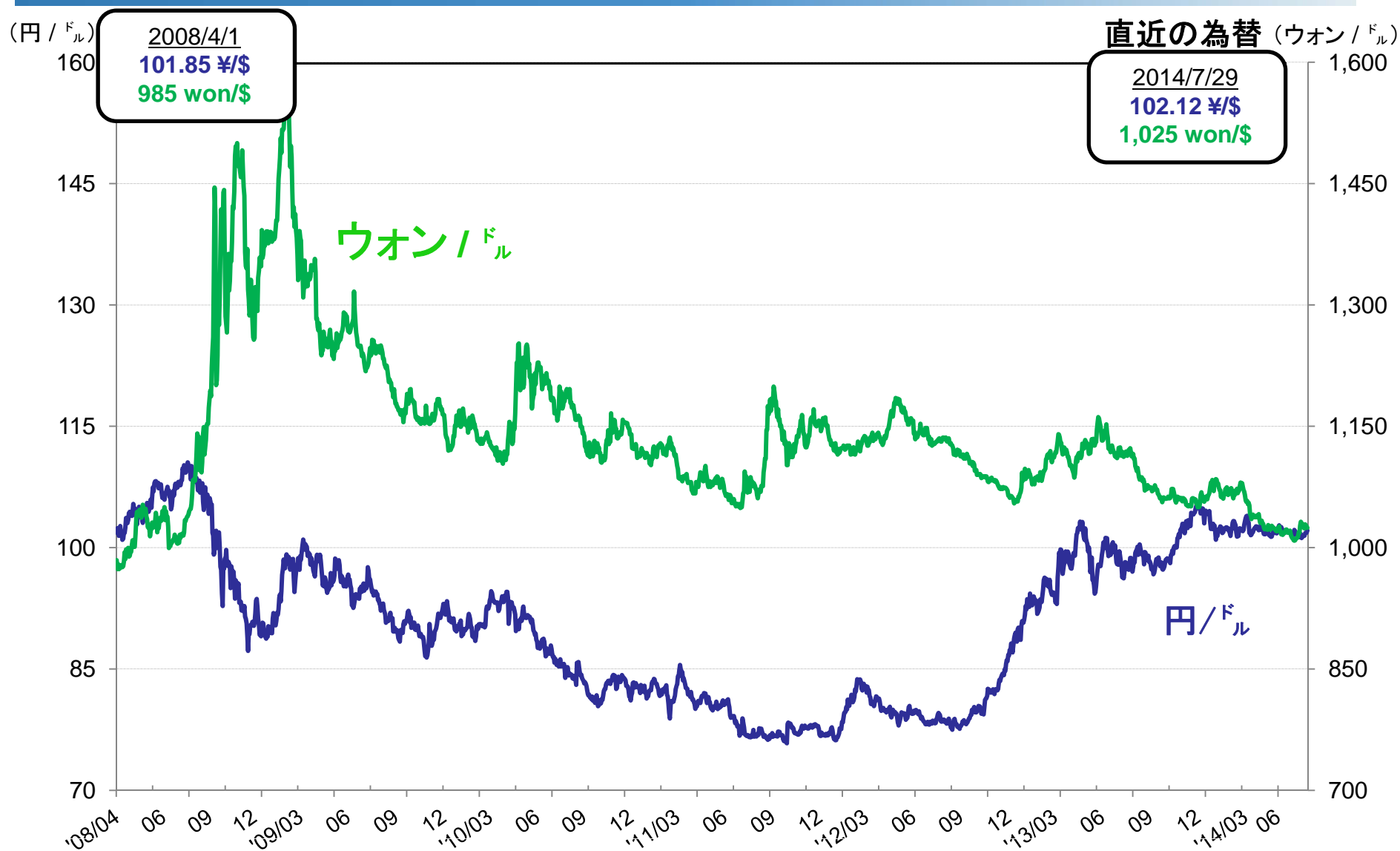


型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)



為替推移 (円/ドル, ウォン/ドル)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。